



ZOWAオリジナルプロジェクト「君が私をダメにする」公開台本

▼使用に関する注意事項

「君が私をダメにする」公式サイト(<https://fun.zowa.app/lp/kimidame/>)
に公開されている利用規約を必ず「一読いただき、規約に沿って」利用ください。

第4話 「進路相談」

【登場人物】

教師

芦田

川上



教師 「芦田、何で呼び出されたか分かっているよなっ」

芦田 「分かんないし、帰りたいっすね」

教師 「先生も帰りたい気持ちは同じなんだけどオナ、この進路希望見ちゃったら話さないわけにいかないのよ」

芦田 「何か、まずいつすか？」

教師 「まずいんだよ。第一志望なんて書いた？」

芦田 「人魚」

教師 「それなんだよお〜！なんで人魚なんて書いちゃうかなあ〜」

芦田 「先生、俺、ユキと付き合ってるじゃないですか」

教師 「え、誰？」

芦田 「3組の川上です」

教師 「ああ、川上ユキね。付き合ってるんだあ〜」

芦田 「ユキが初めての彼女なんですよ…」

教師 「そうなんだあ」

芦田 「彼女の側に一生いたい気持ちは分かります?」

教師 「うん、分かる」

芦田 「出来れば彼女の願い叶えたいのも分かります?」

教師 「うん、分かる」

芦田 「ユキと一緒に人魚になろうって」

教師 「うん、それは分からない!」

ああー、芦田は彼女に染まりたい系男子かあー」

芦田 「先生、人魚ダメですかね?」

教師 「や…(長めの間)。その…ダメというかねえ」

芦田 「俺、変わりたいんですよ」

教師 「…人魚に?」

芦田 「人魚に」

教師 「人魚かあ……！……！……！」

多様性の時代だから個人の意見は尊重したいけどさ……ちなみに人魚は就職になるのかな？」

芦田 「違いますよ先生……人魚は雑食です！」

教師 「人魚の食性は聞いてないんだわ。ていうか人魚って雑食なんだ。初めて知った」

芦田 「俺、人魚になるしかないんですよ。

ユキを幸せにするには人魚しかないんです」

教師 「そんなことはないと思う。あのさ、ちなみに第2志望は？」

芦田 「犬です」

教師 「犬？」

芦田 「犬」

教師 「犬……それは、ユキちゃんの犬になる……的な？」

芦田 「そうです」

教師 「…エロいねえ…。いや、教師としてそういうの」と言っちゃいけないだろっけどさあ、先生もちょっとそういうお店嫌いじゃなくてさあ、みんなに言わないでね」

教師 「でも犬だったらなれるじゃん、そういうプレイとかさ…まだ未成年だから気をつけなよ」

芦田 「トイプードルが良いそうです」

教師 「やっぱそっちかあ〜！」

芦田 「現実的に難しいのはわかってるんですよ。でも犬よりは、半分は人間だし。これって頑張ればいけそうじゃないですか〜！」

教師 「そんな、大食いチャレンジみたいに言われてもねえ」

芦田 「逃げないでくださいよ、俺かなり真剣に悩んだんです！
人魚になりたいんです！」

教師 「分かった、分かった！ちょっと一回整理するけどさ、芦田は3組の川上と付き合つて、川上が人魚になりたいっていうから人魚になりたいの？」

芦田 「そうです」

教師 「とりあえず進路決めてから将来的に人魚っていうのはどう？」

芦田 「先生、ユキの誕生日が…来月です」

教師 「ああ、まよかとは思っけど」

芦田 「来月までには…人魚に」

教師 「ムリムリムリムリ」

芦田 「先生そこを何とか」

教師 「進路相談で人魚になりたいだけでもキャパオーバーなのに来月までって」

芦田 「正確にはあと20日です」

教師 「ムリムリムリムリ」

芦田 「プレゼント買ってあげたいんですけど、金無いんですけど。

つまり人魚になるしか道がないんです…」

教師 「他にもあると思うけどなあ」

芦田 「先生は生徒のために頑張るみたいなことをパチなんとか先生ってドラマの人も言ってた気がするんですけど…」

教師 「金何とか先生も、生徒に人魚になりたいなんて言われたら、流石に困惑するんじゃないかなあ。あーテレビで人魚の格好SNSに上げた写真バズってるってニュース見たけど、それじゃだめなの？」

芦田 「先生、あれは「スプレ」です」

教師 「え〜…。そこは冷静なお〜」

芦田 「それに今、2月ですよ。上半身裸で海行つて「スプレ」するのはキツイです」

教師 「今先生もキツイです」

芦田 「俺も馬鹿じゃないんで、人魚に本気でなれるとは思ってないんですよ」

教師 「頑張れば行けそうって言うってなかった？」

芦田 「進路希望に書くくらいは本気って「スプレ」です」

教師 「なるほどなあ〜川上の「スプレ」ってただ本気で好きなんだなあ…良いな、青春って感じだね」

芦田 「青春で終わらせたい気ないんですけど」

教師 「え?」

芦田 「ちゃんと将来考えてるんで」

教師 「将来かあ…ちゃんと将来考えたうえで人魚になることを選んだのはいかがなものかと思うけど」

芦田 「先生えへ、俺マジなんですってば」

教師 「人生って長いと思うだろ?」

芦田 「…はい」

教師 「でも、誰にも明日は保証されてないんだ。矛盾してると思わないか?」

芦田 「そうですね」

教師 「いやな、芦田はまだ若いじゃん。芦田の将来は無数の可能性を秘めてるし、きっと芦田自身なんにでもなれるって思ってるだろ?」先生も思ってる」

教師 「でも人生って何が起きるか分からないから楽しくてな」

教師 『明日がどうなるか分からない』の積み重ねが過去と自分になっていくっていつのかな。人生の価値なんて人それぞれでどう使おうが自分の自由でいい。人様の迷惑にならないなら何でも良いと思うんだ」

教師 「先生だって子供の時があって教師になると思ってなかったけどなってみたらめっちゃくちゃ楽しいのよ。つまり将来を考える楽しさはまだ子供の芦田の方が大人になっちゃった俺より絶対大きいから」

教師 「進路希望を一つに絞る」ともいい選択だけど人魚以外の選択を考えられるのも今だからできる人生の醍醐味っていうかさ…」

SE 教室のドアが開く音

川上 「あっしー！まだ終わらないの？」

芦田 「ユキー！」

川上 「今日カラオケ行こうって言ってたじゃん！」

芦田 「ごめん、今、人魚になる方法を」

川上 「え、人魚？あっしー、人魚になるの？ウケるw」

芦田 「…いやいやー冗談に決まってるでしょw

人魚とかなれるわけないじゃんw

川上 「先生、もうあっしー連れてって良いっ？」

教師 「良いよー」

川上 「帰ろー！」

芦田 「先生ありがとうございました！」

教師 「気をつけて帰れよー」

教師 「青春だなあ…」